



## 木がほのおを出して燃えるのはなぜ

### ものが燃えることを燃焼という

紙や木などがほのおを出して燃えることを、燃焼といいます。ものが燃えるためには、紙や木のように燃えるものであること、酸素が十分にあること、ものが発火点以上に熱せられることが必要です。

### 発火点でもものは燃え上がる

ものを熱していくと、ほのおを出して燃え上がるしゅんかんがあります。このときを、ものの発火点といいます。発火点は、木材、木炭など、ものによってちがいます。木材の発火点は400～470度Cです。この温度まで熱せられた木の成分が気体になりはじめ、やがて、ほのおを出して燃えはじめます。ほのおが出るのは、燃える成分がいったん気体になってから燃えるからです。

たとえば、ろうそくのほのおは、いちばん外側の温度が1200～1400度Cあり、中の赤い部分でも1100～1200度Cあります。（監修 青木国夫）

